

神戸港開港150周年へ  
平和の神戸港を



# 非核「神戸方式」決議 記念のつどい



## 記念講演

**富田宏治**さん  
(関西学院大学教授)



戦争法態勢で非核  
「神戸方式」はどうか

原水爆禁止世界大会の起草委員長として、核兵器廃絶の道を探って世界の平和団体、平和活動家の議論をまとめる大役を担っている富田さん。その豊かな経験から、安倍内閣の戦争政策をきびしく糾弾。非核「神戸方式」の今日的意義をあきらかにします。非核・非同盟の日本とアジアを実現する展望も明らかになります。

2016年

**3月18日 [金]**

18時半開会 (受付18時)

**神戸市勤労会館308号室**

【資料代1000円】



主催／非核「神戸方式」決議41周年記念集会実行委員会

協賛／非核の政府を求める兵庫の会 後援／神戸市・神戸市教育委員会

(事務局団体)神戸港湾共闘会議、新日本婦人の会兵庫県本部、

神戸市職員労働組合青年女性部、兵庫県原水協

神戸市中央区元町通6丁目7-6茶本ビル5階

◎TEL (078)341-2818 ◎FAX (078)371-2427 ◎Eメール:hikakukobe@yahoo.co.jp



## 核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議

神戸港は、その入港船舶数及び取扱い貨物量からみても、世界の代表的な国際商業貿易港である。

利用するものにとっては使いやすい港、働く人にとっては働きやすい港として発展しつつある神戸港は、同時に市民に親しまれる平和な港でなければならない。

この港に核兵器が持ち込まれることがあるとすれば、港湾機能の障害はもとより、市民の不安と混乱は想像に難くないものがある。

よって神戸市会は核兵器を搭載した艦艇の神戸港入港を一切拒否するものである。以上、決議する。

1975年3月18日

神戸市会

### 講師紹介

富田宏治 (とみだこうじ)

1959年生まれ。名古屋大学法学部卒業。同大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。関西学院大学法学部専任講師、助教授を経て、99年より同教授。原水爆禁止世界大会の起草委員長。著書に『核兵器はなくせるか?』『丸山眞男―「近代主義」の射程』など。

3月18日(金)  
昼休み平和パレード  
12時15分集合  
(神戸市役所花時計前から  
神戸大丸前まで)

兵庫県では  
100万人の  
「戦争法廃止」  
署名を集めます



衆議院議長 大島理森様  
参議院議長 山崎正昭様  
内閣総理大臣 安倍晋三様

## 戦争法の廃止を求める統一署名

2015年9月19日に参議院で“強行採決”され“成立”した「平和安全保障関連法」は、憲法第9条が禁じる国際紛争解決のための武力行使を可能とするもので、憲法違反であることは明らかです。したがって、「平和安全」の名にかかわらず、その内容はまぎれもなく戦争法です。また、憲法解釈を180度くつがえした閣議決定に基づいた違憲の立法は、内閣と国会による立憲主義の否定であり、断じて認めることはできません。

この戦争法が発動されれば、日本は海外で戦争する国になり、自衛隊は海外で殺し殺されることになり、日本自体が武力紛争の当事者となって、「平和安全」とはまったく逆の事態を招くこととなります。

戦争法に対しては、国会審議の段階で、憲法の専門家をはじめ、さまざまな分野の人びとから反対の声が上がり、世論調査でも8割が政府の説明は不十分と答えていました。全国の人びとの強い反対の声を国会内の数の力で踏みにじった採決は、主権在民と民主主義を壊す暴挙であり、正当性を欠くものです。

### 【 請 願 事 項 】

- 一、戦争法である「平和安全保障関連法」をすみやかに廃止してください。
- 一、立憲主義の原則を堅持し、憲法9条を守り、いかしてください。

名 前	住 所

☆この署名は、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が呼びかけたもので、5月3日（憲法記念日）までに2000万筆集め、国会に提出されます。